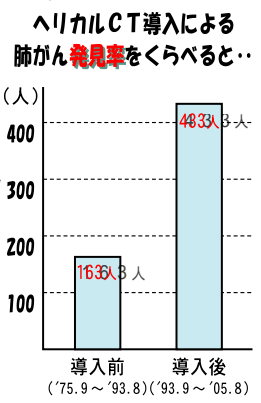


CTを使った 肺がん検診のはなし

- 18 -

では、検診結果はどうであったか。ヘリカルCT導入前と導入後に分けて見てみよう。

CT導入前
の1975年9月
から1993年
8月までの
18年間に
延べ26,338
人に検診を
実施、43人
の肺がんが
発見された。
人口10万人
対比は163
であった。



これに対しCT導入後、1993年9月から2005年8月までの12年間では、延べ19,624人に対して実施した検診で85人の肺がんが発見され、10万人対比も433と約2.7倍に高まった。

発見された肺がんの内訳をみると、部位別では、肺の入り口にあたる気管支の太い部分にできる肺門型肺がんがCT導入前の16.3%から導入後7.1%と減少しているが、CT導入後発見された肺門型肺がん6例中5例(83.3%)が喀痰細胞診によってのみ指摘されており、CTや胸部単純X線撮影などの画像では指摘が困難とされる肺門部の肺がん発見に、喀痰細胞診の効果が示唆される結果となっている。特筆すべきは、肺野型肺がん79人のうち、56人(70.9%)がヘリカルCTでのみ指摘が可能であったことである。ちなみに、胸部単純X線撮影でのみ指摘が可能であった症例は0%である。(以下、次号)

医療制度改革ニュース

「ニコチンパッチ」が 6月1日から保険適用

中央社会保険医療協議会は5月24日、禁煙治療のはり薬「ニコチンパッチ」を保険適用にすることを決めました。医師の禁煙診察・指導に伴って処方される場合に限り、6月1日から適用されます。詳しくは当診療所までお問い合わせ下さい。

Violinist 岩切陽子の 音楽ひろば

～♪ たのしく心と体リフレッシュ ♪～

第3回「音楽ひろば」のようすご紹介

座禅洞の庭の新緑もいっそう鮮やかな5月9日午後、第5期3回目の「音楽ひろば」が開かれました。

まず足もみでからだを温めたあと、コミュニケーションゲームは、前回のアレンジ版「ジャンケンゲーム・負けるが勝ちヨ！」でスタート。先生vs参加者で、先生に負けるように、しかも利き腕でない手でジャンケンします。負けるようには脳が切り替わらないようで、負ける人続出でした。



「バードコール」
かわいい小鳥の鳴き声が出る楽器です。オーケストラでも使われるそうです。

コミュニケーションゲームでも脳力トレーニング。輪になって座り手に持った楽器を、歌を歌いながらリズムに合わせ右手で右側の人へ回します。先生の合図で左手で左の人に回すようチェンジ。さらに合図でブームワッカーを持った人は楽器をクロスさせて打ち音を出します。



「ブームワッカー (ドレミパイプ)」
柔らかいプラスチックの筒状で、色ごとに決まった音階があります。曲の演奏も可能。

こんなふうに楽しみながら脳のチカラを目覚めさせておくと、とっさの時に機敏な行動がとれるようになるのだそうです。



『楽しく脳力トレーニングゲーム』
リズムにのれず隣へ回しそこなうと、ひとつの楽器に手が重なったり、自分の前に何も回ってこないことになったり・・・笑いが絶えないひとときです。

(若葉があふれる座禅洞の中庭)



第5期教室、開催中!

あなたも体験してみませんか?

Violinist 岩切陽子の 音楽ひろば お気軽にお問い合わせください。



参加をご希望の方は当研究所までお申し込み下さい。
(随時受付)

- <開催日>
'06. 3月～7月 第2火曜日(全5回)
・午後：13時半開始
- <開催予定日>
第4回 6月13日(火)
第5回 7月11日(火)
- <参加費>
前納制(全5回分・・・10,000円)
・1回のみ参加・・・2,500円
- <テーマ>
・「右脳さん、さあ起きましょう!!」
～音楽に触れることで右脳を刺激し、手や足、体の機能を活発にさせましょう!～
・「ヴァイオリンの演奏」
～心と体にやさしく響く音楽鑑賞～
- <内容>
・毎回、岩切先生のヴァイオリン演奏があります。
・からだをほぐすために「足もみ」をします。裸足になれる服装、または、5本指靴下でおいでください。
・右脳を刺激し、からだの機能活性化のために、テーマにもとづいた様々なコミュニケーションゲームを行います。

◎注目!◎「リラックス度チェック」
「音楽療法がこころとからだに与えるリラックス効果」を実感していただくために、音楽ひろばの開始前と終了後、看護師が「血圧、脈拍、体温、血中酸素、体脂肪率」を測定します。

みなさまのご意見・ご感想・情報をお待ちしています。上記までお寄せください。